

1 誰でも気軽にスポーツを楽しむ機会の充実

【目 的】

スポーツを通して県民の元気とまちの活力（健康・体力づくりや地域活性化）を創出するため、いつでも、どこでも、だれでも、気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

【概 要】

(1) 県民スポーツ月間及び「ながさき県民総スポーツ祭」の開催

広く県民各層がスポーツの楽しさや喜びを体験し、実践する機会の充実を図るため、毎年11月を県民スポーツ月間として、県民体育大会と県民スポーツ・レクリエーション祭を柱とした「ながさき県民総スポーツ祭」を開催するとともに、期間中、県内各地でのイベントの開催や積極的な広報を市町・関係団体と連携して行います。

(2) 県民体操「がんばらんば体操」の普及

県民体操「がんばらんば体操」を広く普及し、県民の健康増進・体力向上を図ります。

- ・がんばらんば体操の普及（指導者派遣、DVD貸与など）
- ・地域インストラクター活動状況把握、等

(3) 「わがまちスポーツ」定着への支援

国民体育大会等の成果を維持発展させるため、各市町で開催された競技やスポーツ行事を「わがまちスポーツ」として定着させることを目的とした市町の取組を支援します。

2 スポーツを支える活動の推進

【目 的】

成人の週1回以上のスポーツ実施率が、平成32年度までに65%となることを目指します。
そのうえで、学校や社会体育施設等を拠点として、様々なスポーツを愛好する多世代の地域住民だれもが、気軽に多種目のスポーツに親しむことのできるスポーツ環境づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブ（以下「クラブ」という。）の設置・育成を図っていきます。

【概 要】

(1) 「広域スポーツセンター」によるクラブの育成支援

地域スポーツの拠点となるクラブの育成強化を図るため、スポーツ振興課内に設置している「広域スポーツセンター」により、クラブや市町などへの巡回訪問・助言などの支援を行います。

(2) エリアネットワーク支援事業

クラブの自立的な運営を図るため、拠点クラブを核としたエリアネットワークによりクラブ間の連携を強化し、新教室の開設や指導者派遣などの支援を行います。

(3) 経営相談事業

学識者によるクラブ運営にかかる経営相談・助言を行い、クラブの経営安定に向けた取組を支援します。

3 地域密着型クラブチーム等を活用した地域活性化

【目 的】

本県唯一のプロサッカーチームであるV・ファーレン長崎を支援・活用することにより、郷土愛を育む機運を醸成し、本県イメージを向上させるとともに、地域間・世代間の交流並びに地域経済の活性化を促進することにより、スポーツを核とした地域振興を図ります。

【概 要】

(1) V・ファーレン長崎の支援

- ・クラブの安定経営を目的とした、競技場使用料の減免などの支援を実施します。
- ・チームを活用した地域のPRやにぎわいづくりを推進するため、県・市町を構成メンバーとする「V・ファーレン長崎自治体支援会議」において、県民応援デーなどの支援策を実施します。

(2) 県民みんなで応援する機運づくり

県広報媒体等を活用して、チームの地域貢献活動や試合等をPRし、県民の関心度を高めます。

《V・ファーレン長崎の概要》

○名称の由来

V・ファーレンのVは、ポルトガル語で勝利を意味するVITORIA（ヴィトリア）とオランダ語で平和を意味するVREDE（ブレーダ）の頭文字をとり、それに、航海を意味するオランダ語VAREN（ファーレン）を合わせた造語です。

日本で最初の国際貿易港である長崎から平和への発信と、県民の夢と希望を乗せ、勝利への航海を意味します。

また、2015年の10周年を機に、多様性を意味する「VARIEDADE（ヴァリアタージ）」という意味も追加されました。

○チームの略歴

平成 17 年 3 月	V・ファーレン長崎 誕生
平成 17 年	九州リーグ 3 位
平成 18 年	九州リーグ優勝
平成 18 年 10 月	全国社会人サッカー選手権大会優勝（本県初）
平成 20 年 11 月	JFL（日本フットボールリーグ）昇格
平成 24 年 11 月	JFL優勝、J2（日本プロサッカーリーグ ディビジョン2）昇格
平成 25 年	J2リーグ 6 位
平成 26 年	J2リーグ 14 位
平成 27 年	J2リーグ 6 位
平成 28 年	J2リーグ 15 位
平成 29 年	J2リーグ 2 位（J1リーグ昇格）

4 長崎県スポーツコミッションを活用した地域活性化

【目的】

長崎県スポーツコミッションを活用して、国内外からスポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大による地域活性化を図るため、関係者が一体となって取組を推進します。

【概要】

1. 長崎ならではの資源（歴史、文化、自然、施設等）を活用した、スポーツ合宿の誘致推進
 - (1) スポーツツーリズム推進に係るスポーツ合宿の誘致活動
 - ① 国内の大学、社会人・実業団、プロチームへの接触、訪問
 - ② 離島地区へのスポーツツーリズム推進活動
 - ③ 合宿実施の場合のスポーツ施設や宿泊施設の予約、各種助成金の申請代行等のワンストップサービスの提供
 - (2) 2020 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致に係るターゲット国へのアプローチ、事前視察やトレーニングキャンプの受入
2. 長崎ならではの資源（歴史、文化、自然、施設等）を活用した、スポーツ大会の誘致推進
大会主催者への直接訪問活動など
3. 情報発信
多言語のウェブサイト・パンフレットによる長崎県のスポーツ環境、魅力等の発信
4. スポーツコンベンション人材バンクの運営
大会主催者側から要請があった場合に、人材バンク登録ボランティアを派遣したり、合宿チームから講義や実演指導の要請があった際に、人材バンク登録のスポーツドクター、（スポーツ）栄養士、スポーツトレーナー等を派遣する人材バンクの運営
5. スポーツマネジメント人材育成のための講座の開設
スポーツ大会運営や合宿受入をマネジメントできる人材の育成のほか、スポーツ選手のセカンドキャリアや県内の学生でスポーツ関連の仕事に携わりたい人にマネジメントスキルを身につけていただき、スポーツビジネス産業への就職、起業を促し、県内定住、地域経済の活性化を図ります。
6. ラグビーワールドカップ 2019（RWC2019）公認チームキャンプ地誘致地域交流事業
国の財政支援を受け、RWC2019 公認チームキャンプ地を誘致することにより、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現に向けた取組を推進するため、出場国・地域の選手及び関係者並びにラグビー日本代表選手等との交流を行います。
7. スポーツ合宿拠点づくり推進事業補助金
県外の大学・実業団・プロチーム、海外チーム等の合宿に係る旅費及び宿泊費を対象に、県と受入市町が1：1でスポーツコミッションへ負担金を拠出し、スポーツコミッションからチームへ補助を行います。
8. スポーツコンベンション開催助成事業費補助金
一定要件の大会規模のコンベンション開催経費を対象に、県と大会開催市町（コンベンション協会）が1：1でスポーツコミッションへ負担金を拠出し、スポーツコミッションから大会主催者等へ補助を行います。